

令和4年第2回定例会・一般質問

○日 時 令和4年6月9日（木）午前9時～

○質問者及び質問の要旨

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
1	河村 仁志	<p>1. 智頭町林業活性化のための対応について （山村再生課）（地域整備課）</p> <p>(1) 森林・林業の施策での、森林環境譲与税の有効活用方法や林業生産活動との組合せ事業（半林半X）就労形態の構築、林業事業体の育成、林道管理を含む支援策など、町の基幹産業である林業を次世代へ引継ぐ森林づくりなどが必要と考えるが、林業の活性化と維持発展をどのように考えているか。</p> <p>2. 智頭町農地利用最適化推進施策について（山村再生課）</p> <p>(1) 智頭町の農業を取り巻く現状は、農業従事者の減少と高齢化の進行、後継者と担い手不足、耕作放棄地の増加、有害鳥獣被害、米価をはじめとする農産物価格の低迷など厳しい状況に直面しているが、遊休農地の利活用、担い手確保など今後の農業支援策をどのように考えているか。</p> <p>3. 産業会館と周辺整備について（総務課・企画課）</p> <p>(1) 旧東部消防智頭出張所および産業会館の取り壊しの時期はどのように計画されているのか、また、整地後の活用方法は検討されているのか公共施設など総合管理計画に基づく整備等どのように考えているか。</p>	9:00
2	大河原 昭洋	<p>1. 森林整備と農地保全について（山村再生課）</p> <p>間伐や路網などの森林整備に加え、森林整備を促進するための人材育成や担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発を目的に「森林環境譲与税」が令和元年に創設された。</p> <p>(1) 本町でのこれまでの実績と今後の活用策をどのように考えているのか。</p> <p>(2) 令和4年度で期限を迎える鳥取県版「森林環境保全税」の現状と今後に向けてはどのような考えなのか。</p> <p>(3) 耕作放棄地の防止と地域農業の継続、活性化は本町が直面する課題であるが、その対策に必要な財源確保のためにも「農地保全税」の導入を働きかける考えは。</p> <p>2. 家庭教育について（教育課）</p> <p>(1) 家庭教育は全ての教育の出発点であり、家庭は常に子どもの心の拠り所となるものとする。本町での家庭教育の現状と今後の取り組みをどのように進めていく考えなのか。</p>	9:45

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
3	宮本 行雄	<p>1. 若者の定住促進施策について（総務課・企画課） 智頭町の人口は、昭和30年の14,643人をピークに平成27年7,154人で、減少率は51%に達している。第2期智頭町総合戦略で掲げられている、2040年5,000人の目標を達成するための具体的な施策について、特に、若者の定住促進について問う。</p> <p>(1) 補助金以外に、若い世代から見て魅力のある支援策について問う。</p> <p>(2) 若者定住促進施策で、若い世代が家屋を購入新築等される場合であれば上限100万円の補助金が交付されるが、今後、制度の見直しについての考えは。</p> <p>(3) 町が所有している、土地を住宅用地にする考えはないか。 旧緑ヶ丘県住跡地を住宅用地にする考えは。</p>	10:40
4	岡田 光弘	<p>1. 本町の目指す山村再生について（山村再生課、企画課）</p> <p>(1) 現在、想定以上のスピードで人口減少が進行しているが、本町の中でも特に山間集落の実態、実情をどのように把握しておられるか。</p> <p>(2) 2020年3月に策定された「智頭の山と暮らしビジョン」策定後2年間経過するが、未来へのアクションの現状と課題についてどのように認識しておられるか。</p> <p>(3) 鳥取県が昨年8月に集計結果を発表された「令和3年鳥取県山間集落实態調査」から、山間過疎集落の実情が浮き彫りになってきていると思われるが、本町の施策に反映、展開できるものはないか。</p>	11:15
5	波多 恵理子	<p>1. コミュニティスクールについて（教育課） コミュニティスクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地方教育行政法第47条の5）に基づいた仕組みであり、本町において、令和4年度に導入予定とし準備を進めていこうとしている。</p> <p>(1) 今智頭町にコミュニティスクールを導入する意義をどのように考えているか。</p> <p>(2) 智頭町の目指すコミュニティスクールについての考え方を問う。</p> <p>(3) コミュニティスクール導入のため、今後どのような具体的スケジュールで行っていく考えであるか。</p>	13:00

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
6	安道 泰治	<p>1. 観光・交流の施策について（教育課・企画課）</p> <p>(1) コロナ禍であるが、昨年に比べ、観光交流人口が今年になって大きく動き始めている。本町の観光の目玉である石谷家住宅の入館者の増加に向けた施策を問う。</p> <p>(2) コロナ禍、コロナ後を見据えて、他県や観光関係との繋がりを絶やさぬようされている。他町に先駆けていつでもトップギアに持っていけるような準備が必要と考えるが町長の所見を問う。</p> <p>2. JR西日本の因美線について（企画課）</p> <p>(1) JR西日本は赤字ローカル線17路線30区間の収支を公表した。その中に因美線東津山～智頭間が入っている。地域の公共交通として重大な局面を迎えていると考えるが、町長の考えを問う。</p> <p>(2) 因美線全線開通から90年を迎える那岐駅においても写真展示などのイベントが考えられているが、町としてバックアップの考えはあるか。</p>	13:35
7	藤田 浩祐	<p>1. 放置空家の取り組みについて（税務住民課、企画課）</p> <p>(1) 平成27年に空き家対策として全面施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」を受け「智頭町空家等対策計画」が平成31年3月に策定された。</p> <p>その中で、空家等件数429件（空家率5.7%）と有り、それについてA・B・Cと利活用ランクが位置づけられている。</p> <p>Cランクの特定空家等について現状と今後を問う。</p> <p>2. 移住・定住の取り組みについて（企画課）</p> <p>(1) 昨今、複業協同組合登録者等で徐々では有るが智頭町に定着する移住の方が増えている傾向が伺える。その中で、増加に伴う課題（住宅）と今後の対策をどのように考えているか。</p>	14:30
8	谷口 翔馬	<p>1. ゴミ出し支援について（福祉課）</p> <p>(1) 本町でも高齢化が急速に進む中、高齢者等対象にゴミ出し支援をする考えはないか町長の所見を問う。</p> <p>2. ふるさと納税について（総務課）</p> <p>(1) 現在ふるさと納税で積み立てている基金の活用方法について町長の所見を問う。</p> <p>(2) 遊休施設におけるふるさと基金の活用の考えはないか町長の所見を問う。</p>	15:05

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
9	仲井 荃	<p>1. 子どもまんなか社会にむけての智頭町の取り組みについて（教育課）</p> <p>(1) 児童の権利に関する条約に、日本は平成6年4月に批准し、令和4年4月には61自治体が「子どもの権利に関する総合条例」を制定しています。智頭町でも必要ではないかと考えるが、町長の見解を問う。</p> <p>(2) 子どもの権利擁護のため、子どもの意思を第三者がくみ取り子どもの意思表明をサポート又は代弁する仕組み（アドボガシー）について。</p> <p>①現在子どもたちからどのような困りごとの声が届いているのか。</p> <p>②子どもの声を聴く現在の体制についての現状は。</p> <p>③子どもアドボガシーへの取組の可能性について。</p>	15:50

※開始時間は、議事進行状況により変動する場合があります。

※傍聴を希望される方は、議会事務局で所定の用紙に必要事項をご記入ください。